

平成24年度 第11回 教育研究評議会議事要録

日時 平成25年1月23日（水）午後1時00分から午後1時30分
出席 24名 他オブザーバー1名 欠席者3名

〔審議事項〕

1. 一橋大学名誉博士称号授与規則の一部改正について

山内学長から、一橋大学名誉博士称号授与規則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 平成25年度以降学部入学者1年次の英語コミュニケーションスキル科目2単位必修化について

各部局長から、英語コミュニケーションスキル科目の平成25年度からの必修化に関し、各教授会において出された意見について説明が行われた後、落合理事・副学長から、それぞれの意見に対する説明が行われた。引き続き山内学長から、内容自体に強い反対意見はないこと、また、今後のプロセス及び委託業者選定にあたっては、各教授会から出された意見を参考にして慎重に進めていく旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

〔報告事項〕

なし

〔その他〕

なし

配布資料

1. 一橋大学名誉博士称号授与規則の一部改正について

平成24年度 第11回 教育研究評議会議事要録（案）

日時 平成25年1月23日（水）午後1時00分から午後1時30分
出席 24名 他オブザーバー1名 欠席者3名

〔審議事項〕

1. 一橋大学名誉博士称号授与規則の一部改正について

山内学長から、名誉博士の称号授与の推薦人について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 平成25年度以降学部入学者1年次の英語コミュニケーションスキル科目2単位必修化について

落合理事・副学長から、各教授会からの意見等について、下記のとおり説明を行い、また山内学長から、内容自体に強い反対意見はないこと、委託業者への仕様策定及び今後のプロセスについては、教授会から出された意見を参考として慎重に考え進めていく旨の発言があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

- ・商学部で既に行われている英語コミュニケーションスキル科目(PACE)とは、今後調整を図りながら行っていく。
- ・導入の経緯については、平成24年12月25日（火）全学共通専門委員会において説明済みであり、全学共通教育教員会議の審議については3度経ている。
- ・盛誠吾教育委員会委員長答申「本学の語学教育のあり方について」（平成21年4月15日）に基づき、実行出来ることを行っていきたい。
- ・細かく履修のシミュレーション、また履修後に不合格となった場合も想定して行った結果、導入可能という判断である。
- ・「その他科目」から2単位削減されることの妥当性、ならびに他の共通教育科目への影響については、導入後の様子を見ながら調整して行っていく。

〔報告事項〕

なし

〔その他〕

なし

配布資料

1. 一橋大学名誉博士称号授与規則の一部改正について